旭有機

開発機能 一部現地化も

旭有機材工業の管材システム事業では、合成樹脂製のバルブやパイプ、継手といった配管材料・装置の製造・販売を行うとともに、配管工事の設計や施工なども展開している。

アサヒアメリカは、米国内の独占代理店だった拠点を1999年に完全子会社したもの。米国市場だけでなく、鉱山開発関連の管材製品でチリ、ベネズエラ、コロンビア

ヒアメーラ(ベネズエラ)、ペルーに出先を置き、オネの二酸化塩素などを南米の鉱山開発案件に関連した受注の獲得などによって、現地通貨ベースで過去最高の売上高を記録するなど好調に推移していることもあり、生産能力の増強を検討する。また開発機能の一部移設も進め、日本からの常駐派遣要員を配置して顧客対応の迅速化を図る。

といった南米市場も開拓している。日本から持ち込んだ部品の組み立て加工をはじめ、欧州メーカーのパイプを仕入れ販売する代理店機能も持ち、バルブの上に付ける駆動装置は自社で生産してい

透光性セラミックス

表面性状、強度優れる

西村陶業 構造材への適用可能

工業用セラミックスメーカーの西村陶業（京都市山科区）は、高強度を有する光透過性セラミックスを開発した。このセラミックスは、99・99%の高純度アルミナを主原料に独自の焼成技術により実現したもの。全光線透過率で83・66%以上（JIS K7105に準ずる）を確保するとともに、結晶粒径の微細化により425メガパスカルの曲げ強度を有しているのが特徴。同社では、構造材としての使用に耐え得る機械的強度をポイントに、半導体製造装置をはじめとする各種産業機器向けに提案していく。

同社は原料の混練から成形、焼成、加工までの一貫生産を手掛けるセラミックスメーカー。原料はアルミナやジルコニア、イットリア、窒化アルミといった一般材料のほか、同社オリジナル配合を含む100種類以上を用意し、用途や使用条件に最適な製品提供を可能としている。また、高精度部品のコストダウンに対応するため、CIP成形した原料を焼成前に機械加工する「グリーン加工」を導入し、焼成後に切削加工などを行う焼結体加工に比べて低コスト化を実現している。

新開発の透光性アルミナ「N－9000NS」は、4Nの高純度アルミナをベースに高度な成形技術と独自の焼成技術により実現したもの。粒子径1～3ミクロンと非常に微細な原料の採用により、他社製品に比べて結晶が小さいのが特徴。高い光透過率とともに表面性状や機械的強度に優れており、マイクロ波透過窓や高温炉の窓といった透光性を生かした用途のほかに、半導体装置用部材や耐熱耐蝕材料（反応管・ルツボ）など構造材への適用を見込む。

同社では、今後も高度な技術開発力をベースに独自の製品展開を推進していく。

光学用ポバールフィルム

厚さ

クラレ

クラレは光学用ポリビ

液

パネ